

## 様式第12号 動力消防ポンプ設備の概要表記載要領

- |                  |   |
|------------------|---|
| ① 設置場所           | ・対象棟からの方角、場所の状況及び地上又は地下の別を記入する。   |
| ② 種別             | ・屋内消火栓設備等（様式第2号）に準ずる。   |
| ③ 構造             | ・同上   |
| ④ 兼用の有無          | ・同上   |
| ⑤ 防火対象物までの水平距離   | ・水源から当該水源を用いた動力消防ポンプで防護しようとする防火対象物の最遠部分までの距離を記入する。  |
| ⑥ 動力消防ポンプまでの歩行距離 | ・水源から直近の動力消防ポンプまでの歩行距離を記入する。  |
| ⑦ 必要水量           | ・動力消防ポンプの規格放水量で20分間放水できる量を記入する。<br>(計算結果が20m <sup>3</sup> 以上となる場合は、20m <sup>3</sup> と記入する。) |
| ⑧ 水源容量           | ・水源の容量を記入する。  |
| ⑨ 有効水量           | ・屋内消火栓設備等（様式第2号）に準ずる。   |
| ⑩ 吸水落差           | ・取水口から水面までの垂直距離を記入する。   |
| ⑪ 設置場所           | ・対象棟の周囲に設ける場合、当該棟名、当該棟からの方角及び設置場所名を記入し、それ以外の場合、設置場所名（屋内であれば当該棟名）を記入する。                      |
| ⑫ 操作人員           | ・事業所において定められた操作人員を記入する。   |
| ⑬ 種別             | ・該当するものを選択する。   |
| ⑭ 製造者名           | ・製造会社名を記入する。  |
| ⑮ 届出番号           | ・自主表示届出番号を記入する。   |
| ⑯ ポンプ            | ・仕様を記入する。   |
| ⑰ 機関             | ・同上   |
| ⑱ 吸管等            | ・設置する吸管、ホース及びノズルの口径、長さ（ノズル以外）及び本数を記入する。   |
| ⑲ その他            | ・水源及び動力消防ポンプが2以上設置されるときは、その他にその旨を記入し、それぞれ別葉として記入する。   |

## 動力消防ポンプ設備の概要表

様式第12号

水	①設置場所		建物西側空地地下		水	⑦ 必要水量					
	②種別		受水槽・高架水槽・その他 ( )			1.4 m <sup>3</sup> /min × 20分 20m <sup>3</sup>					
	③構造		RC・FRC・その他 ( )			⑧ 水源容量					
	④兼用の有無		専用・兼用 ( )			5 m× 5 m× 5 mH = 125 m <sup>3</sup>					
	源	距離	⑤ 防火対象物までの水平距離			60 m		⑨ 有効水量			
			⑥ 動力消防ポンプまでの歩行距離			4 m		5 m× 5 m× 4 mH = 100 m <sup>3</sup>			
				⑩ 吸水落差		1.2 m					
動力消防ポンプ	⑪設置場所		建物西側格納庫		⑫操作人員		3 名				
	⑬種別		消防ポンプ自動車 重可搬消防ポンプ		手引消防ポンプ 軽可搬消防ポンプ						
	⑭製造者名		○ ○ ○ ○ ○		⑮届出番号		▼ ▼ ▼ ▼ ▼				
	ポンプ	⑯ポ	級別		B-2 級		⑰機	出力/回転数		41 PS/ 5,100 rpm	
			口径		75 mm			燃料種別・消費量		ガソリン・ 0.26 ℓ /min	
		吐出量		1,400 ℓ /min		燃料タンク容量		12 ℓ			
段数		1 段		起動方式		セルスタータ及び リコイルスタータ式					
回転数		5,100 rpm		蓄電池容量		12 V 24 Ah					
管等	⑱ 吸管		75 mm × 6 m × 1 本								
	ホース		65 mm × 20 m × 5 本								
	ノズル		19 mm × 2 本								
⑲その他											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢の併記してある欄は、当該事項を○印で囲むこと。